

## 「宮澤・レーン事件」80周年特別展を開催

### 【概要】

北海道大学総合博物館では、本学大学文書館との共催により、「宮澤・レーン事件」80周年特別展～事件をめぐる“出会い”と“絆”をたどる～を開催します。展示の企画において、現在、札幌を中心に、事件に関する新たな事実を発掘し、関係者の人物像や交流なども明らかにする活動を続けている「宮澤・レーン事件を考える会」の協力を得ています。

アジア・太平洋戦争開戦の1941年12月8日、特別高等警察（特高）が諜報活動などの全国一斉検挙を行いました。その中には、北海道帝国大学工学部2年宮澤弘幸、予科英語教師ハロルド・レーンとその妻ポーリン・レーンが含まれます。宮澤がレーン夫妻に軍事機密を漏らし、レーン夫妻がアメリカ大使館関係者に伝えたとする軍機保護法違反の容疑です。3人は裁判で懲役刑の判決を受けます。その後、レーン夫妻はアメリカに送還されますが、宮澤は終戦まで獄中生活を送り、釈放後、27歳で病死します。いわゆる「宮澤・レーン事件」です。1987年、弁護士の上田誠吉が著書『ある北大生の受難』で3人は冤罪であると指摘しました。以降、冤罪事件として広く知られるようになり、様々な視点から事件を見返す活動が行われています。2021年は「宮澤・レーン事件」80周年に当たります。本展示では、資料を通じて、事件とその現代的な意味をたどります。

### ■展示構成

- I. 北大予科英語教師ハロルド・レーン、ポーリン・レーン
- II. 北大生宮澤弘幸の青春
  - (1)文芸活動 (2)外国人教師たちとの交流 (3)時代と社会への眼差し
- III. 宮澤・レーン事件
- IV. それぞれの戦後
  - (1)宮澤弘幸、再起の日々 (2)レーン夫妻の再来日
- V. 現代から見る宮澤・レーン事件
  - (1)弁護士 上田誠吉による冤罪の告発 (2)北海道大学の取り組み
  - (3)市民の視点から問い直す

### 【趣旨】

「宮澤・レーン事件」80周年にあたり、事件を北海道大学の歴史として位置付ける取り組みの一環として、事件の中心人物である宮澤弘幸とレーン夫妻及びその周辺の人々の人物像や交流、事件の事実、関係者の戦後の歩み、事件を冤罪であると指摘した弁護士の上田誠吉の調査、宮澤弘幸の実妹秋間美江子を中心とする事件を語り継ぐ活動などを、資料でたどり、事件とその現代的な意味を考えることを意図した展示です。

30年以上にわたって、事件を語り継ぎ、その意味を問う活動の中心であり、貴重な資料を北海道大学にご寄贈下さった、秋間美江子氏（宮澤弘幸の実妹）が、昨年2020年10月に逝去されました。秋間氏のご冥福をお祈りして、改めて「宮澤・レーン事件」を振り返る機会としたいと思っております。

- 【日 程】** 2021年12月4日(土)～2022年1月30日(日) 10:00～17:00  
※休館日：月曜日（祝日の場合は翌日休館）  
2021年12月28日～2022年1月4日, 1月15日, 1月16日
- 【場 所】** 北海道大学総合博物館（札幌市北区北10条西8丁目）
- 【主 催】** 北海道大学総合博物館, 大学文書館
- 【協 力】** 宮澤・レーン事件を考える会
- 【対 象】** 一般市民
- 【参 加 費】** 無料
- 【言 語】** 日本語
- 【注意事項】** 駐車場はありませんので、公共交通機関によりお越してください。  
新型コロナウイルス感染症対策のため開館日程が変更されることがあります。

**オープニングセレモニー**（2021年12月4日（土）10:00～10:45）

会場：総合博物館知の交流ホール, 企画展示室前（1階）

1. 主催者挨拶 小澤丈夫 総合博物館長  
山本文彦 理事・副学長, 大学文書館長
2. テープカット
3. 開場
4. 展示担当者の展示解説（企画展示室） 井上高聡 大学文書館准教授

**お問い合わせ先**

**【展示の観覧・利用に関すること】**

北海道大学理学・生命科学事務部事務課博物館担当

T E L 011-706-2658 F A X 011-706-4029 メール museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

**【展示の内容に関すること】**

北海道大学大学文書館 准教授 井上高聡（いのうえたかあき）

T E L 011-706-2395 F A X 011-706-2395 メール officeHUA@archives.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.hokudai.ac.jp/bunsyo/>

**配信元**

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

# 「宮澤・レーン事件」

## 80周年特別展

～事件をめぐる“出会い”と“絆”をたどる～

1941年12月8日、アジア・太平洋戦争開戦の日、  
平和を愛する予科英語教師のアメリカ人夫妻と、  
広く世界に眼差しを向ける北大生が検挙された。  
容疑は軍機保護法違反。それから80年・・・。

2021年12月4日<sup>土</sup>～2022年1月30日<sup>日</sup> 10:00～17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、2021年12月29日～2022年1月3日、1月15日、1月16日

北海道大学総合博物館 1階企画展示室

【主催】北海道大学総合博物館、大学文書館 【協力】宮澤・レーン事件を考える会  
[展示内容に関するお問い合わせ] 北海道大学大学文書館(TEL 011-706-2395)



1939年6月8日ソシエテ・デュ・クール 発会(宮澤弘幸旧蔵アルバム)

# 「宮澤・レーン事件」

## 80周年特別展 ～事件をめぐる“出会い”と“絆”をたどる～

2021年12月4日【土】～2022年1月30日【日】 10:00～17:00

【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、2021年12月29日～2022年1月3日、1月15日、1月16日

北海道大学総合博物館 1階企画展示室

### 「ソシエテ・デュ・クール」

北大生宮澤弘幸は、北大予科英語教師レーン夫妻、ドイツ語教師H.ヘッカー、小樽高商フランス語教師太黒マチルド、イタリア人留学生E.マライニ、中国人留学生らと共に、週に一度、外国語で議論や講義、談話をする集いを行なっていました。集いの名は「ソシエテ・デュ・クール」(「心の会」の意)。戦時であっても敵国・同盟国関係なく国際的な友好を育む集いでした。しかし、それ故に特高(特別高等警察)などから動きをマークされることもありました。



### 問われた容疑は軍機保護法違反

1941年12月8日、宮澤弘幸とレーン夫妻は突然検挙されました。軍機保護法違反の容疑です。宮澤がレーン夫妻に語った旅行談の内容が軍事上の秘密にあたとされました。裁判の結果、三名には懲役15年、12年という重刑が科されました。しかし、軍機保護法は、帝国議会の審議の中で、軍事上の秘密と分かった上でその情報を他人に伝えた場合に罪を問うことを確認しており、宮澤とレーン夫妻への適用は、不合理な法運用であったといえます。

### 冤罪の告発

戦後、宮澤弘幸もレーン夫妻も亡くなった後、弁護士上田誠吉が三人の軍機保護法違反に疑問を呈しました。それをきっかけに、上田は宮澤の実妹秋間美江子と出会い、さらに事件の解明を進め、以降、「宮澤・レーン事件」は冤罪事件として知られるようになります。秋間を輪の中心として、宮澤弘幸の名誉回復をはかる運動、事件を掘り下げる調査、事件当時の大学の関わり方を検証する取り組みが広がり、現在に至っています。



【主催】北海道大学総合博物館、大学文書館

【協力】宮澤・レーン事件を考える会

[展示内容に関するお問い合わせ] 北海道大学大学文書館(TEL 011-706-2395)



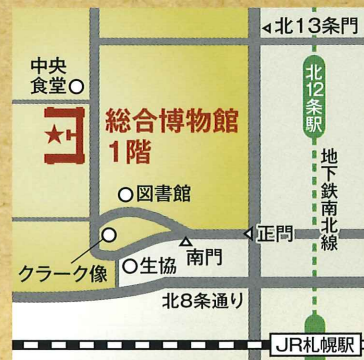
THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM

北海道大学総合博物館

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
TEL 011-706-2658

交通案内

JR札幌北口より徒歩15分、博物館周辺に駐車場はありません。  
バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願いいたします。



<https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

会期中のイベント情報や、新型コロナウイルス感染症対策の詳細・最新情報につきましては、博物館ウェブサイトでご確認の上お出かけください。